

## 新大田市立病院建設事業設計業者選定に係るプロポーザル審査結果について

### 1. 審査結果

新大田市立病院建設事業設計業者選定審査委員会（以下「審査委員会」という。）による審査の結果、次の者を最優秀者に選定。

最優秀者：石本・イズテック設計業務特別共同企業体

### 2. 参加表明業者（受付順）

- 石本・イズテック設計業務特別共同企業体
- 中林建築設計・大田技術C T建設業務特別共同企業体
- 日建・コラム新大田市立病院設計業務特別共同企業体

### 3. 審査の経過

- 1) 第1回審査委員会を6月9日（日）に実施。
  - ・参加表明業者の規模や地元企業の利用状況、当プロジェクトを担う責任者や主任技術者の経験等事務所の能力について評価。
  - ・技術提案について、提案内容の確認を行い、3者すべてについて、次回の審査委員会に参加してもらうことを確認。
- 2) 第2回審査委員会を6月30日（日）に実施。
  - ・各業者25分間の説明と30分間の質疑応答を行い、事務所の能力の視点と取り組み姿勢や創造性、テーマに対する提案などの技術提案の視点で総合的に比較検討、審査を行い、最優秀者を選定。

### 4. 技術提案内容の比較

- 1) 病院敷地内でのゾーニングについては、ドクターヘリ臨時離着陸場や院内保育所の設置場所の提案に差異はあるものの、新病院の配置や駐車場の配置など基本的な部分については同様な提案であり、ともに、救急車両と一般来院患者車両の動線を分離するなどの配慮がされている。
- 2) 外来については、各業者とも概ね1階部分に配置し、来院患者への配慮がなされているが、外来診療室の配置方法として、いくつかの診療科をグループ化しそれぞれに外来待合室を設けるブロック方式と外来待合室がワンフロアとなる方式の2つのタイプでの提案があった。
- 3) 病棟については、入院患者の療養環境や目の行き届く看護体制などの視点で、それぞれ独創性のある病棟構造が提案されているが、西日対策への対応に差異があった。
- 4) 耐震性の確保については、安全性の確保を前提とし提案されているが、今後の地震発生の可能性や事業費、工期などの視点も加味し、免震構造と制振構造の2つのタイプの提案があった。

- 5) 各業者とも自然採光、自然通風、太陽光などの自然エネルギーの活用や地元産材を使用する提案があった。

## 5. 審査委員会の講評

全体的に、各業者とも、患者や医療スタッフの目線で、また、自治体病院として地域に開かれた病院づくりの視点に立ち、創意工夫された提案内容との印象を受けた。

### ■最優秀者（石本・イズテック設計業務特別共同企業体）

この提案は、患者と医療スタッフの効率的な動線をよく検討されているとともに、臨床研修を提供するエリアの確保や女性医師をはじめ医療スタッフの環境整備についても提案がされている。

病棟については、病室がスタッフステーションから目が行き届くよう構成されているほか、西日の入らない病室構成など入院患者の療養環境に配慮した提案であることを評価した。

また、今後の業務を進めるにあたって、院内体制の提案など、発注者である市や市立病院と十分コミュニケーションをとり、現場の意向をくみ取りながら設計作業を進めようとする姿勢を評価した。

一方、感染症病床やドクターヘリ離着陸場の配置、地元産材の利用について課題があるとの意見はあったが、今後の設計の段階で、対応可能と判断し、総合的に評価して最優秀者として選定した。

### 【参考】

#### 新大田市立病院建設事業設計業者選定審査委員会

役職	氏名	所属
委員長	西尾 祐二	大田市立病院院長
委員	石橋 豊	島根大学医学部総合医療学講座教授
	須田 道雄	大田市医師会
	丸田 誠	島根大学大学院総合理工学研究科教授
	水津 史朗	島根県建築住宅課長
	古家 寛司	大田市立病院医師
	岸 浩史	大田市立病院医師
	蓮花 正晴	大田市副市長
	船木 三紀夫	大田市市民生活部長
	田中 功	大田市建設部長

※順不同